

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

旭川医科大学研究フォーラム (2017) 第17巻:84-85.

旭川医科大学回顧資料(18)1990(平成2)年度 図書館システム電算化の元年

藤尾 均

旭川医科大学回顧資料 (18) 1990 (平成 2) 年度

図書館システム電算化の元年

天皇の代替わりという大きな変化のあった 1989 (平成元) 年度に続く、1990 (平成 2) 年度を回顧しよう。

皇室関係のイベントは続いた。6 月 29 日、今上天皇の次男礼宮文仁親王 (当時) と学習院大学教授 (当時) の令嬢川嶋紀子さんの婚姻に伴い、秋篠宮家が創設された。11 月 12 日、今上天皇が「即位の礼」で即位を宣言した。儀式には 158 ヶ国・2 国際機関の代表が出席した。翌 1991 (平成 3) 年の 2 月 23 日は皇太子徳仁親王の 31 歳の誕生日であり、この日、皇居では「立太子の礼」が行われた。

国内政治に目を向けよう。年度直前の 90 (平成 2) 年 2 月 13 日に第 39 回総選挙が実施されて自民党が安定多数を確保し、同 27 日に第二次海部俊樹内閣が発足した。ハト派イメージの強い海部首相ではあったが、実態はそうでもなかった。4 月 1 日には学習指導要領の改訂により小・中・高校の入学式での日の丸掲揚と君が代斉唱が義務化された。10 月 16 日、政府は自衛隊を国連平和維持活動 (PKO) に参加させるための「国連平和協力法」案を国会に提出した。これに対し市民団体・労組らから「憲法 9 条の規定に反する」と反対行動が相次いだ。11 月 8 日、自民・社会・公明・民社 4 党は幹事長・書記長会談で同法案の廃案を決め、自公民 3 党は、自衛隊とは別個に国連の PKO に協力する組織をつくることで合意した。こんなキナ臭い空気に機敏に反応してか、11 月 13 日に実施された沖縄県知事選では、革新統一候補の大田昌秀琉球大名誉教授が現職の西銘順治知事を破って当選し、12 年ぶりの革新県政登場となった。

次は文化的な話題をあげよう。年度直前の 2 月 14 日にはイギリスのロックバンドであるローリング・ストーンズが初来日した。3 月 26 日には映画の黒澤明監督が第 62 回アカデミー賞特別名誉賞を受賞した。4 月 1 日から半年間、大阪で「国際花と緑の博覧会」(花博) が開催された。5 月 15 日には、ゴッホの名画「ガシェ博士の肖像」を史上最高値の 8250 万ドル (約 125 億円) で大昭和製紙名誉会長が落札した。一部に崩壊の兆しも垣間見えていたとはいえ「バブル経済」はまだ当分は進行するかと思わせた出来事であった。ちなみに 8 月 7 日に発表された平成 2 年度「経済自書」では、景気は戦後最長の「いざなぎ景気」(1965 年 11 月以降 4 年 9 か月) に並ぶ可能性が示唆されていた。同 30 日には日銀がインフレ防止のため公定歩合を 0.75% 引き上げて年 6% とした。デフレ経済をなかなか脱却できない現在からみると隔世の感がある。12 月 2 日には、日本人初の宇宙飛行士として秋山豊寛 TBS 記者がソ連のソユーズ TM 11 号に乗り込み、バイコヌール基地を出発、9 日間の旅をして 10 日に帰還した。

海外情勢に目を転じよう。6 月 10 日にはペルーの大統領選で日系のフジモリ前国立農科大学長 (当時) が当選した。10 月 3 日にはドイツが国家統一を回復した。11 月 22 日には英国のサッチャー首相が辞任して 11 年半の長期政権に幕が降り、同 28 日、メージャー蔵相が首相に就任した。11 月 29 日、国連安保理事会は、イラクが翌 91 年 1 月 15 日までにクウェートから撤退しない場合は加盟国が武力行使を含むあらゆる必要な手段を講ずることを容認する決議を可決した。12 月 9 日、ポーランドでは大統領選で「連帯」のワレサ議長が圧勝した。そして翌 1991 (平成 3) 年 1 月 17 日、米軍を主体にペルシャ湾岸地域に展開する多国籍軍はイラク軍に攻撃を開始した。この攻撃は「砂漠の嵐作戦」と命名された。「湾岸戦争」の始まりである。海部俊樹首相は多国籍軍に「確固たる支持」を表明し、同 24 日、政府・自民党首脳会議は、湾岸戦争支援策として、90 億ドル (約 1 兆 2000 億

円)の追加支出、避難民輸送のための自衛隊機派遣等を決定した。そして2月24日、多国籍軍はイラク・クウェートに進攻。同27日、ブッシュ米大統領(当時)はクウェート解放の完了を確認して勝利宣言をした。

医学関連の話題をあげよう。8月24日、島根医科大(当時)で日本初の生体部分肝移植手術を受けた男児が多臓器不全で死亡した。1歳9か月、手術後285日目であった。8月28日には、ソ連(当時)のサハリン州(旧樺太)でやけどを負った3歳の男児コンスタンチン君が札幌医科大病院で成功裏に手術を受けた。

音楽では、「おどるポンポコリン」(B.B.クィーンズ)、「浪漫飛行」(米米CLUB)、「今すぐ Kiss Me」(LINDBERG)、「さよなら人類」(たま)などがヒットした。

書籍では、筒井康隆『文学部唯野教授』、二谷友里恵『愛される理由』、シドニィ・シェルダン『真夜中は別の顔』、石原慎太郎・盛田昭夫『NOと言える日本』などがベストセラーとなった。

映画では、『櫻の園』(中原俊監督)、『少年時代』(篠田正浩監督)、『死の棘』(小栗康平監督)、『夢』(黒澤明監督)、『天と地と』(角川春樹監督)など、外国映画では『バック・トゥ・ザ・フューチャー PART 2』(ロバート・ゼメキス監督、マイケル・J・フォックス主演)などがヒットした。

流行語には、「ボーダーレス」、「バブル崩壊」、「三高(高学歴・高収入・高身長)」、「3K(きつい・汚い・危険)」、「ファジー」、「オタッキー」、「マニュアル」、「症候群」、「ちびまる子現象」、「成田離婚」などがあつた。

こうして内外情勢が目まぐるしく動いた1990(平成2)年度であつたが、わが旭川医科大学に関する限り、喧騒をよそに平穏無事な日々が続き、施設・設備が充実していった。年度直前の2月には廃棄物保管庫Ⅰの新営工事(1階29㎡)、3月には附属病院MRI-CT装置棟の新営工事(1階465.7㎡)、そして12月には、廃棄物保管庫Ⅱの新営工事(1階12㎡)がそれぞれ竣工した。

図書館では、待望の図書館システム用電算機がこの年度に導入されることとなつた。その経緯は広報誌「かぐらおか」第62号(平成元年12月1日教務部学生課発行)の「図書館の電算化とOPAC」(資料A)に詳しい。執筆者は図書課(当時)の職員であつたが固有名詞は不明である。この電算化は1990(平成2)年度に整備され、いよいよ翌91(平成3)年度から図書館の貸出システムが電算化。それに伴い学生証の様式も変更された。「かぐらおか」第67号(平成3年3月25日発行)には「図書館の貸出システムが電算化されます」(資料B)と「学生証の様式の変更について」(資料C)と題する告知が掲載された。当時を偲ぶよすがとして、今回はこれらの資料A・B・Cを紹介する。

図書館の電算化の第一歩はこうして踏み出された。その後、四半世紀以上が経過した今日、図書資料のうち学術論文の大半は電子化されている。まさに隔世の感がある。

(旭川医科大学 歴史・哲学 藤尾 均)